

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年8月20日～8月27日)

平成 27 年(2015 年)8 月 28 日

H E A D L I N E S

政治

ドゥダ大統領, 国民投票実施提案を上院に送付
 コパチ首相の国際航空ショーへの出席
 ドゥダ大統領, エストニアを訪問

経済

ポーランドAIIB加盟近づく
 政府による干ばつ支援は4.9億ズロチ
 7月の失業率は微減
 家電・PC売上げが上昇中
 クレジットカード人口が620万人に
 外国人労働者が増加
 電力供給制限がポーランド電力市場に与えた示唆
 石炭部門とエネルギー企業を巡る国有財産大臣発言等

大使館からのお知らせ

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

ドゥダ大統領、国民投票実施提案を上院に送付【21日】

21日、ドゥダ大統領は、年金受給開始年齢の引き下げ、国有林の管理システムの現状維持、6歳を就学開始年齢とすることの撤回に関する国民投票を10月25日の総選挙に併せて実施する提案を上院に送付した。同国民投票を実施するためには上院の同意が必要となる。なお、9月6日には、コモロフスキ前大統領が提案した小選挙区制の導入、政党助成金

制度の変更、税制変更に関する国民投票が実施される予定。

コパチ首相の国際航空ショーへの出席【24日】

22日、コパチ首相及びシェモニヤク副首相兼国防相は、ラドムで開催された国際航空ショーに出席し、開会スピーチの中で、コパチ首相は今後も国防費の増額を進めていくと述べた。

外交・安全保障

ドゥダ大統領、エストニアを訪問【23日】

23日、ドゥダ大統領は就任後初の訪問先としてエストニアを訪問し、モロトフ＝リッベントロップ協定(独ソ不可侵条約)の署名日に際する「全体主義の犠牲者を追悼する欧州の日」の記念式典に出席すると共

に、イルヴェス大統領、ロイヴァス首相及びネストル国会議長と会談した。ドゥダ大統領は、記者会見において、主権、国際法遵守の重要性を指摘すると共に、NATO東方諸国の安全保障強化、中・東欧地域の協力の重要性を強調した。

経 済

経済・財政政策

ポーランドAIIB加盟近づく【26日】

財務省は、アジアインフラ投資銀行(AIIB)にポーランドが加盟した場合のプロコンを検討し、加盟のための決議を議会と大統領に提出する模様。ポーランドがアジア市場へ存在を拡張する試みの一環。年末までにポーランド財務省がAIIBとの間で合意文書に署名し、来年末までに同文書が批准される見通し。AIIBに対して、0.8%にあたる約8億ドルを拠出予定。

政府による干ばつ支援は4.9億ズロチ【26日】

サビツキ農業大臣は、1ヘクタールあたり800ズロチの支援を果樹農家に対して行う旨25日の記者会見で発表。その他の農家については1ヘクタールあたり400ズロチの支援。但し、支援は穀物の3割以上が損害を受けた農家に限られ、9月末までの申告制。27日には、当初排除されていた牧畜農家を支援の対象に含めるとの報道。また、サビツキ大臣によれば、食料の供給に問題はなく、緊急事態令を発出する予定はないとのこと。

マクロ経済動向・統計

7月の失業率は微減【26日】

中央統計局(GUS)によれば、7月末のポーランド

失業率は10.1%で前月の10.3%から微減。2014年7月の11.8%からは大きく減少。

ポーランド産業動向

家電・PC売上げが上昇中【21日】

市場調査会社GfKの調査結果によると、ポーランドにおける2015年上半期の家電製品の売上げが前年同月比7.8%以上支出しているという。これは、ポーランドのGDP成長率の2倍以上の伸びとなっているが、ポーランドの家庭部門における消費の好調ぶりを伺う指標の一つとも言えるだろう。

クレジット情報局(BIK)はポーランドのクレジットカード人口は620万人、そのうち有効なクレジットカードは380万枚と発表。クレジットカード負債を抱える人口は480万人でそのうち90日以上支払いが延滞しているのは47万人と先月より減少。

クレジットカード人口が620万人に【24日】外国人労働者が増加【25日】

労働省は2015年上期の外国人労働許可証の発給件数が前年比28%増である27,200件となった

と発表した。飲食・宿泊関連分野の伸びは50%となった。ホテル業界関係者は、こうした外国人は低い賃金の職種として雇われており、これは、ポーランド人が低技能職種を避けより賃金の高い職種への関心が向いていると分析している。また小売では36%

の上昇となり、スーパーマーケットや衣料品店での雇用が多いという。また、建設業における外国人労働者、その多くはウクライナやベラルーシの出身者であるが、24%の増加となった。

エネルギー・環境

電力供給制限がポーランド電力市場に与えた示唆【24日】

8月に行われた大口需要家向け電力供給制限に関し、今回の事態は、ポーランドがいかなる状況においてもエネルギー需要を満たすメカニズムを持った電力市場を必要としていることを示したとの専門家らの見解が報じられている。この記事では、送電系統事業者PSEは、熱波やベルハトウフ発電所の(一時的な)停止によるものと説明しているが、専門家は危機時における予備電源の確保に対する断固とした措置が欠けていた結果と指摘していることや、さらに、エネルギー供給に支障ありとの情報は外国から投資のみならず既にポーランドで事業を行っている投資家にも悪影響を与えるとの見解も紹介している。

石炭部門とエネルギー企業を巡る国有財産大臣発言等【25日】

チェルヴィンスキ国有財産大臣は、電力会社の経営層の交代は望まないが、石炭部門のリストラへの関与を期待すると述べた。同大臣は、新コンパニア・ヴェングロヴァの立ち上げのための出資、JSWの鉱山労働者のコスト合理化、石炭市場拡大に向けた新技術の開発などを挙げた。さらに、こうした議論は今年初頭から行われていることや市場情勢に基づきエネルギー企業と鉱山部門をリンクさせる計画についても議論していることを紹介した。

また、Rzeczpospolita 紙等のメディアにおいては、新コンパニア・ヴェングロヴァ社の立ち上げは秋の総選挙前には難しいだろうとの記事を掲載している。

他方、野党「法と正義」で首相候補とされるシドウオ副党首は、地方での演説において、炭鉱とエネルギーの持続的な戦略を策定することは国の義務であり、現在の政府はその観点で何もしていない、と批判している。

大使館からのお知らせ

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】展覧会: 日本の織物展「Wielowatkowe Piekno」【6月2日(火)～9月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Mangghaにて、日本の織物デザイン及び技術に関する展覧会が開催中です。

開催場所: クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

【開催中】ポーランドの日本美術傑作展【6月13日(土)~9月6日(日)】

トルンにて、トルン旧市庁舎博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所:トルン,トルン旧市庁舎博物館, Rynek Staromiejski 1

詳細:http://www.muzeum.torun.pl/strona-654-arcydziela_sztuki_japonskiej_w.html

【開催中】日本刀の魅力【7月24日(金)~9月13日(日)】

ワルシャワにて、アジア太平洋博物館主催による『日本刀の魅力』が開催されます。日本の冷兵器が展示されています。

開催場所:ワルシャワ,アジア太平洋博物館, Al. Solec 24

詳細:<https://www.facebook.com/events/970205409668252/>

【予定】日本人ピアニストによるショパンコンサート【9月6日(日)】

サンニキ市にて、サンニキ市フレデリック・ショパンヨーロッパ芸術センター主催による日本人ピアニストによるショパンコンサートが開催されます。出演者: 小林倫子, 尾崎文子, 奥住かをり。コンサートの他, 山平茂美氏による写真展「日本人の目で見たポーランド」も開催されます。

開催場所:マゾフシェ県,サンニキ市,フレデリック・ショパン・ヨーロッパ芸術センター, ul. Warszawska 142

詳細:<http://ecasanniki.pl/>

【予定】水曜映画会(「ロボコン」)【9月16(水)】

日本大使館広報文化センターにて、水曜映画会「ロボコン」の上映を行います。(日本語音声, 英語字幕)鑑賞ご希望の方は、下記の連絡先まで登録ください。

開催場所:在ポーランド日本大使館広報文化センター(Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

詳細: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

電話: 22-584- 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp

【予定】波武道祭り・波剣道大会【9月26(土)】

ヴロツワフ市にて、ポーランド日本親善友好財団「波」主催による『波武道祭り・波剣道大会』が開催されます。大会の他, 将棋大会, 書道デモンストレーション, 日本刀展などが予定されています。

開催場所:ドルヌィ・シロンスク県, ヴロツワフ市, ul. Piotra Skargi 29/31

詳細:<http://www.fundacja-nami.pl/>

【予定】第5回国際空手選手権大会 Polish Open IKO「Galizia Cup」【9月26(土)】

レジャイスク市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『第5回国際空手選手権大会 Polish Open IKO「Galizia Cup」』が開催されます。

開催場所:ポトカルパチェ県, レジャイスク市, ul.Marii Skłodowskiej-Curie 6

詳細:<http://www.karate.lezajsk.pl>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
[在ポーランド日本国大使館 newsml@wr.mofa.go.jp](mailto:newsml@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)